

令和6年度 No.1

中南の社会教育

令和6年8月9日発行



各市町村教育委員会で掲げている「社会教育行政の方針と重点」の下、令和6年度の社会教育関係事業が各地で開催されています。コロナ禍が明け、気兼ねなく参加できるように配慮したり、事業内容に工夫を凝らしたりしている様子が見えます。

今回は、平川市の「ひらかわ郷土芸能発表」と、黒石市の「新しい黒石のリーダー研修会」の様子を御紹介します。 中南教育事務所 主任社会教育主事 秋谷 啓児

平川市 「ひらかわ郷土芸能発表」【令和6年7月7日（日）】

先人から受け継いだ貴重な郷土芸能の継承に寄与するため、学校や地域における活動成果の発表会として、平川市文化センター文化ホールで「ひらかわ郷土芸能発表」が開催されました。

「御関所太鼓保存会（平川市）」「柏木町荒馬保存会（平川市）」「津軽神楽保存会（弘前市）」「尾崎獅子踊保存会（平川市）」「代野番楽保存会（大館市）」「晴山獅子舞保存会（十和田市）」の6団体が参加し、各地の伝統芸能を発表しました。どの団体も練習の成果を十分に発揮し、太鼓や笛の音を会場内に響かせながら、踊り等を披露していました。参加した小学生から緊張している様子が伝わってきましたが、大勢の観客の前で堂々と演技し、3年ぶりの発表会を盛り上げていました。

神楽や獅子舞の独特な笛の音や太鼓のリズムに合わせて演技している様子を参観し、郷土の貴重な芸能を継承していこうとする熱い思いが伝わってきました。柏木町荒馬保存会には、柏木小学校の5年生が参加し、柏木町荒馬踊りを披露していたのですが、この荒馬踊りを学習発表会でも披露する予定であることを知り、地域に根付いた学校づくりが推進されていると感じました。



黒石市 「『新しい黒石のリーダー研修会』事前研修会」【令和6年7月20日（土）】

未来の黒石を担う世界で活躍できる人材の育成を目的とし、様々な活動を通して社会で活躍する力の向上を目指す「新しい黒石のリーダー研修会」の事前研修会が、黒石公民館多目的ホールで開催されました。

黒石市内の中・高生6名が参加し、黒石市と姉妹都市である岩手県宮古市で、8月10日（土）・11日（日）に行われる本研修に向けた事前研修会を行いました。担当者からの事業説明や日程紹介の後、黒石市少年団体育成指導委員が中心となり、グループワークを行いました。

グループワークでは、自己紹介を兼ねたレクリエーションや黒石市を紹介するためのフリップ作成を行いました。最初は緊張していた参加者でしたが、レクリエーションとして行った「絵しりとり」で緊張感が解け、和やかな雰囲気の中で研修会が進められました。

どのようなフリップを作成すると黒石市をアピールできるのか、グループの仲間と相談しながら作業をしている姿は素晴らしく、「黒石のリーダー」として頑張ろうとする意欲を感じました。（本研修後、「研修のまとめ」を作成し、黒石りんごまつり等で発表する予定です。）

